

ひとなる

発行：白川町教育委員会
—「白川を愛し、たくましく
心のあったかい子を育む美濃白川」—

R8 青雲のつどい 立志式に思う ~新しいステージに向けて~

3月10日（火）に町民会館で青雲のつどいの立志式が行われました。これまでの立志式は、合同宿泊研修（白川中・黒川中、福井県若狭、6月）と同じタイミングで行ってきました。しかし、今年度からは1年をかけて、学校や家庭、地域での学びや気づきを踏まえた上で、将来に対する決意を明確にしてほしいという願いから、3月に「立志式」を実施することとしました。当日は互いの目標や志を確認し合い、白川町を支えていく一員としての心構えをつくることができました。



「立志式」でのプログラムの一部を紹介します。

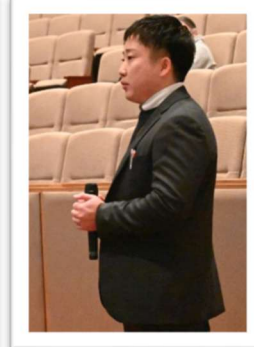
【未来への決意】

中学での最高学年に向かい、さらに将来を見据えて夢や目標に向かっての決意を発表しました。



【未来対話の時間 ~本年度からの新しい企画~】

白川町出身の社会人（白川中卒業）に、今の仕事や中学時代の思い出、これまで頑張ってきたことなどを話してもらいました。今後の生活に良い刺激となるとよいです。



↑杉山玄弥さん（教育課所属）
←田口 凌さん（教育課所属）

脚下照顧



年度末になってきました。そろそろ、1年をまとめるとともに、区切りをつけるために、雑巾をもって掃除をしている今日この頃です。そんな時、ふと思い出す言葉があります。

「脚下照顧（きゃっかしょうこ）」私が初めて赴任した学校で、当時の校長先生が、毎週の定例の打合せで話された言葉です。「自らの足元を照らし、自らを顧みる→今の自分の置かれている状況をしっかりと確認し、よく見極めて行動していきましょう」という意味です。当時、このような言葉を初めて聞いた私は、「きゃっかしょうこ？」どんな漢字を書くのかわからず、とりあえずノートにメモをしました。そして校長先生は、こんなことを話されました（当時は1995年の阪神淡路大震災から数年がたったころでした）。

被災地での話です。

被災し、余裕がない状態でトイレを使うと、使えばなしが多く、汚れていきます。

そんな時、何も言わず進んでトイレ掃除をします。そうすると、初めは「この人だれ？」というような顔をされたりしますが、次第に「ありがとう」というお礼を言ってくれたり、「トイレがきれいだと気持ちがいいわ」と言ってくれたりするようになるそうです。そのうち、「自分たちもトイレ掃除を手伝わしてください」という人も出てくるそうです。

うちの学校はどうでしょう？ 「よい学校にしたい」「〇〇な学校にしたい」という先生方の強い思いや願いは分かります。しかし、現実の学習姿勢、日常生活、生徒指導はどうでしょうか？

理想（大きな願い）は大切です。しかし、皆さんの中に、「何の策も立てることなく、子どもがよくないから」と言って子どものせいになり、「～しなさい」という頭ごなしに一方的な指導したり、子どもに指示をしたのに見届けをしなかったりする姿はありませんか。今こそ、立ち止まって、目の前や足元（自分の指導を含む、あなた自身）を見つめ直してみてもはどうでしょうか。ちょっとしたことが、よい方向に変わるかもしれませんよ。

当時（20代中盤）の私は、子どもと気持ちがズレ、「学級経営がうまくいかないなあ」と感じていました。そんな私の心の中を見抜き、この話を通して、校長先生は、私に「もっと子どもに寄り添い、時に同じ気持ちになって物事に取り組みなさい」と伝えたかったのではないかと当時の私は思いました。

しかし、まだ若かった私は、特段アイデアもなく、何をしてもよいのか分かりませんでした。そこで、校長先生の話と似ていますが、とりあえず、掃除の時間に、子どもたちと一緒に膝をついて雑巾がけ（ほうきではなく）をすることにしました。そうしたら、不思議なことに、校長先生の話のとおり、初めは「何この人？」という顔されましたが、次第に「ちゃんと掃除しよう」と言う子がでてきました。そして、私と同じように、黙々と掃除をする子が増えていったのです。このことから、「小さな一歩を踏み出すことの大切さ」に加え、当時の自分に弱かった「言葉による指導ではない指導（姿で示すこと）の大切さ」に気付くことができました。

あれから20数年、多くの学校（だいたい厳しい学校です）に勤務をしてきました。私はどこへ行っても変わらず、子どもと一緒に雑巾がけを続けています。ほぼすべての学校において、最初は「何この人」からスタートします（教員、時に来校者にも思われます）。しかし、どの学校も不思議と次第に落ち着きを取り戻し、活気に満ちた学校になっていくような気がしています（気のせいかもしれませんが…）。

また、最近では、教育委員会の立場で、いろいろな学校を訪問することがあります。掃除をしている先生や子どもの姿をみると「あっ、この学校いいな（よくないな）」と思うことが多々あります。掃除は一つの事象ですが、私の中で、先生と子どもの一体感を感じさせる一コマになっています。

そんなことを思い出しながら、また、いつか学校に戻ったら、「雑巾がけをしよう!!」と思い、まだまだ冷たい水に雑巾を浸すのでした。

4月の子どもたちの主な行事

- 4月6日（月） 保育園入園式（白川保、黒川保、佐見保、光の子保） 進級式（白北保）
- 4月7日（火） 入学式（午前：小学校 午後：中学校）、始業式
- 4月8日（水）～ 町学力テスト（小1を除くすべての学年で実施、小は国算、中1は国数理社、中23は国数理社英 各校にて日時設定）
- 4月23日（木） 全国学力学習状況調査（小6と中3 国算（数）英、質問紙） ※英、質問紙は別日
- 4月24日（金） 授業参観、PTA総会（白川小、蘇原小、佐見小、白川中）
- 4月25日（土） 授業参観（黒川小、黒川中）
- 4月27日（月）～30日（木） 家庭訪問（黒小） 28日（火） 家庭訪問（佐見小）